



ムツムツ とことん

大仙市立太田中学校
令和4年10月13日
NO. 81



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

後期を迎えて~決意の生徒発表~

1年B組 小松 栞奈



中学校に入学して半年が経ちました。入学した頃は初めてのことが多く、戸惑うことが何度もありました。けれども、輝積学年のみんなで協力し合ったり、先輩や先生方に教えていただいたりして頑張ることができました。このように、前期はたくさんの楽しい思い出ができたものの、反省することもあったので、後期は次の三つを頑張りたいと思っています。

一つ目は勉強です。私は特に社会が苦手なので、授業のときは先生の話をしっかりと聞き、家庭学習でその日習ったことを復習し、頑張りたいです。また、都道府県をしっかりと覚えることや、定期テストに向けてワークに繰り返し取り組むことなど、勉強の仕方を工夫したいと思います。また、テストでは、合計点数が目標に届くようにしたいです。前期は部活から帰った後、すぐにスマホを見てだらだらしてしまうことがよくありました。また、家庭学習でも手を抜いてしまうことが多かったです。後期はそうならないよう、切り替えを上手にできるようにしたいと思います。

二つ目は部活動です。私は女子ソフトテニス部に入っています。テニス部は新人戦で県大会出場を決めました。県大会では一つでも多く勝てるように頑張りたいし、応援も精一杯したいと思っています。また、この後は一年生大会もあります。先輩たちに助けてもらってきた今までの大会とは違うので、6人で協力し合い、みんなで勝ちたいと思います。そのために、先生のアドバイスを意識して練習し、1本目からミスをしないうちにサーブに力を入れたいです。また、ペアの人とは声を掛け合い、楽しくテニスをするので勝利につなげたいです。

三つ目は、学年の一致団結です。1年生として過ごすのも残り半年になりました。勉強や球技大会などの行事を通してもっと仲良くなっていきたいです。また、今まであまり話したことがない人にも積極的に話しかけたいです。そして、まとまりのいい学年になりたいと思います。

中学1年生として残り半年、充実した時間を過ごせるように、この三つの目標に向かって精一杯頑張っていきたいです。

2年A組 小松 琉



僕が前期後半に頑張ったことや楽しかったことは三つあります。

一つ目は校外学習です。僕たち2年生は由利本荘市とにかほ市に行ってきました。にかほ市では、秋田県出身で日本人初

の南極大陸上陸を果たした「白瀬轟」について学ぶことができました。この間の「夢の教室」でも冒険家の阿部さんがそのことを話していたので、同じ秋田県民として誇らしく思いました。

二つ目は新人戦です。練習では、バットにしっかりボールを当ててゴロを転がすことを意識してきました。初戦は、強豪校と言われる大曲中学校との対戦でした。初回に1点をとり、5回裏まで抑えることができましたが、次の回の裏に逆転されました。「どうにか1点返そう」という気持ちで打とうとしましたが、1点も取れずに負けてしまいました。これから練習を頑張って、また対戦する時には勝ちたいです。

三つ目は太中祭の合唱とよさこいです。練習を始めたばかりのころは、よさこいを上手に踊ることはできなかったし、合唱では、歌詞を間違えてしまうことがあったけど、練習をくり返していくうちに上手に踊れるようになったり、歌えるようになったりしてよかったです。ステージ発表でも、みんなの力を合わせた一番よい発表になって、大きな充実感がありました。

後期の抱負は、二つあります。一つ目は勉強です。僕は数学が苦手なので、家に帰ったらしっかり勉強して、部活動と両立していきたいと思っています。

二つ目は部活動の冬期間の練習です。練習メニューは、素振りや走りこみがメインになると思うので、一生懸命頑張りたいです。



3年A組 佐々木那津子

私は後期のスタートに当たり、二つの目標を立てました。

一つ目は勉強を徹底してやることです。これまではテスト前に勉強を集中的に行い、普段の学習は十分ということのできない内容でした。毎日のメディアの使用時間を削減して、学習時間を増やしていきたいです。また、内容も、各教科のテキストを活用して、苦手教科をとことん復習するようにします。

二つ目は学校生活を楽しむことです。受験生として気持ちの切り替えが大切ではありますが、頭の中を勉強で埋め尽くして学校生活が楽しくなくなってしまうのは、もったいないという気持ちがあります。先日の太中祭は、私にとって最高の思い出です。あんなに全力で楽しむことができる仲間の中にいることができることをうれしく思います。10月は、校内駅伝・マラソン大会と球技大会があります。行事を楽しみながらも、3年生らしい団結力を見せつけることができるようにしたいです。

中学校生活も残りわずかです。毎日の小さな出来事一つ一つが思い出になっていく今を楽しんでいきます。

「完全燃焼」の太中祭を終え、後期の合言葉は、「楽しんだもの勝ち」として、勉強と楽しむときのメリハリを付けた生活を送り、翠陽学年33人と過ごす中学校生活に「有終の美」を飾ります。